

令和2年度を振り返って

電気通信大学長 田野 俊一

依然終息の見通しが立たない新型コロナウイルスの感染状況の中にあつて、皆様も日々ご苦労されていることと存じます。令和2年5月29日から10月末日まで募集いたしました「コロナ禍から学生を守り救い支援する募金」(以下「コロナ募金」)には、3つの法人・団体様からは800,000円の、また425名の個人の方からは12,395,000円のご寄附を賜りました。心より御礼を申し上げます。



お蔭をもちまして、いただきました寄附金全額を困窮する学生への様々な支援事業及び学内のコロナ感染症対策事業に使わせていただくことができました。主な支援としては、学生への生活貸与金事業への拠出があげられます。学生の経済状況の審査に時間をかけてしまうことで支援のタイミングを逃してはならないと考え、敢えて「給付金」ではなく簡便な審査による「貸与金」の形で実施し、貸与後に学生の家計状況を審査のうえ、困窮度が高いと判断された多くの学生には貸与金の返還を免除しました。また、食生活の面でも支援するために、上述の貸与金支援対象学生や授業料免除対象学生に対して、大学生協で使用できる食事券配付事業などを実施いたしました。他の支援事業を含め詳細は基金ホームページ(<https://www.uec.ac.jp/kikin/corona/>)に掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

新型コロナウイルスの渦中にあつた昨年度における学生の休退学者数はコロナ禍前の令和元年度と比べても増えていないことがわかりました。このことの詳細な理由は今後の分析を待たねばなりません。一つ言えることは、皆さまからのコロナ募金へのご寄附により実施することができた学生への経済支援事業が大きな助けとなったことは間違いありません。重ねて感謝申し上げる次第です。

昨年度に、多くの学生に手を差し伸べるために特設した「経済支援相談専用窓口」には多くの学生・ご家族様からの声、悩み、相談が今も寄せられています。このような流れを受けて、基金では新たに「不安な日々を過ごす学生を支える募金」を立ち上げました。皆様のご協力を重ねてお願いします。

今後も学生の安定した教育研究環境の確保に努めてまいります。最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸を祈念致します。

今年度の電気通信大学基金の活動について

理事（経営・広報戦略担当） 植村 隆

昨年度は「コロナ禍から学生を守り救い支援する募金」や学資支援基金などに同窓生の皆様をはじめ本学をご支援いただく法人様など、多くの方からご寄附をいただきました。この場をお借りしまして、心より感謝申し上げます。お陰様で、表面の学長の話にあるように本学独自の学生支援などに拠出ができました。誠にありがとうございます。

また、私財を公益に資する目的で寄附された方に贈られる「紺綬褒章」の授与が、本学の推薦で本年1月に同窓生の野澤集様へ田野学長より行われました。推薦の準備はできておりますので更なるお力添えを頂ける方々におかれては、ご検討くださいますと幸いに存じます。

さて、今年度の大学基金の活動としまして、以下にその幾つかをご紹介します。前年度と変わらぬご支援を是非とも頂きたく、心よりお願い申し上げます。

- ①「不安な日々を過ごす学生を支える募金」を急募!! しています。昨年度ご寄附いただいた「コロナ禍から学生を守り救い支援する募金」は既に全額を抛出し終えており、残高は尽きています。新入生も入学し本年度においても、多くの学生が困窮化の中で研究、修学に励んでいます。どうぞ皆様の更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。
- ② 公正証書遺言や遺言信託などによる大学基金への「遺贈」の制度も設けております。現金のみならず有価証券や不動産等も「現物資産活用基金」への寄附として本学は受けることが可能です。
- ③ 多くの方に、クレジットカードで毎月定額の引き落としによる継続的なご協力をいただきたくご検討をお願い申し上げます。
- ④「若手研究者未来基金」を新設しました。

等になります。詳しくは下記のURL、またはQRコードから詳細をご覧ください。

何卒皆様の篤いご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

電気通信大学 総務企画課 基金・卒業生係

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

TEL：042-443-5132

（平日9時から17時まで）

メールアドレス：kikin@office.uec.ac.jp

古本募金 本でつなぐ未来プロジェクトにもご協力ください

基金についての最新情報はWebをご覧ください <http://www.uec.ac.jp/kikin/>



インターネット利用による
ご寄附のお申込みはこちらです



継続的なご協力をお願いいたします。